

(様式7)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 4月 21日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3271500344		
法人名	株式会社 アミーゴしまね		
事業所名	グループホーム・雲南・ゆりさわ		
所在地	島根県雲南市三刀屋町伊萱40-6 (電話) 0854-45-0100		
評価機関名	しまね介護ネット		
所在地	島根県松江市白潟本町43番地		
訪問調査日	平成20年4月10日	評価確定日	平成20年4月30日

【情報提供票より】(平成20年 3月20日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 10月 8日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤5人, 非常勤6人, 常勤換算	8.1人

### (2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	～ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	60,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(10万円)	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,340 円	

### (4) 利用者の概要(平成20年 3月 20日現在)

利用者人数	9名	男性	4名	女性	5名
要介護1	2名	要介護2	3名		
要介護3	1名	要介護4	0名		
要介護5	2名	要支援2	1名		
年齢	平均 86.5歳	最低	71歳	最高	98歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	平成記念病院 上代歯科 こなんホスピタル
---------	----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

斐伊川沿いの民家が点在する農村部にある。利用者は近隣の方が多く、面会時間の設定もなく、家族や馴染みの人が気軽に出入りできるオープンなホームである。利用者の意向に沿った支援の実施が理念の柱になっており、いつでも散歩に同行する等、一人ひとりのペースや要望が大切にされている。意識的に外に出る機会を多く持ち、代表者の「食材のこだわり」をもとに安全で美味しい食事提供に力を入れている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 利用者の権利の明示、広報活動の活発化、介護計画の三ヶ月に一回の見直し、職員の学習教育の実施が課題に上げられているが、各事項とも現在改善に向けて検討中である。 今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4) 職員が記入し管理者がまとめた。管理者が2月に着任したことで時間的制約もあり、全体で検討した自己評価ではないが、職員は振り返りになったと意義を理解している。
	②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4, 5, 6) 利用者の様子やサービスの内容、諸行事等が報告されている。議題は報告事項が多く意見や要望はあまり出ない。
重点項目	③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 毎月金銭管理や領収書等とともに、利用者個々に手紙を書いて家族に送っている。近隣の利用者が多く面会等も日常的に行われ、その際、意見や要望を聞くようにしているが苦情等はあまり出ない。
重点項目	④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 利用者の希望に応じた散歩が都度行われ、隣近所の方々と挨拶をしたりしている。近所の方から野菜の差し入れがあったり、ホーム内の諸行事に参加してもらっているが、地域活動や公民館活動への参加はこれからである。地域への広報活動は中断している。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の分かりやすい理念となっているが、地域密着型サービスの方針は盛り込まれていない。	○	利用者が地域の支援で交流したり生活できるよう、地域密着型サービスの理念について関係者間で検討して頂きたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	開設当初からの職員が多く、日々理念に沿った支援が提供されている。利用者の権利が明記されていない。	○	利用者の権利や義務を明文化するとともに、諸規定の整備と禁止用語について一考されることを期待したい。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームの諸行事に地域住民が参加したり散歩時に会話を交わす等の交流は行われているが、地域活動、公民館活動への参加や地域への広報活動はこれからである。	○	地域密着型サービスを提供遂行していくためにも、地域の自治会に加入されることを勧めたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価票を職員に記入してもらいまとめを管理者が行った。時間的制約もありみんなで検討作成していないが、職員は振り返りになったと意義を理解している。	○	自己評価や外部評価をもとに振り返りを行い、具体的なサービス改善にさらに取り組んで頂きたい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り 組みを 期待し たい項)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	三ヶ月に一回開催することが規定となっている。利用者の様子や日頃のサービス内容、諸行事等が報告されている。議題は報告事項が多く意見や要望は少ない。	○	運営推進会議の持つ意義を再確認され、二ヶ月に一回開催されるよう期待したい。議題の工夫や推進委員に地域の方等を加えて補強されるよう期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	情報交換や分からないことなどを相談したりしている。	○	地域密着型サービスを展開する上でも、事業所側から担当者との連携を強化するための働きかけを行って頂きたい。
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月金銭管理や領収書などと共に、利用者個々に日頃の様子を手紙に書いて送っている。諸行事へのお誘いも積極的に行っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の出入りは多い。面会時や電話等で意見や要望を頻回に聞くようにしているが、不満や苦情はあまり出ていない。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	採用者には利用者個々と話をする時間を十分に取る等、馴染みの関係作りに努力している。	○	運営者は職員の離職防止策を立てたり、異動については利用者や家族に周知する等、不安を持たれないような対応を望みたい。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内の学習会の実施や外部研修への参加は行われていない。	○	計画的な学習の開催や外部の研修会への参加を望む。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者が雲南地区のグループホーム部会に参加したり、職員も相互訪問を行ったりレクレーションや講演会に参加する等、交流や学習が行われている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族に見学してもらったり、併設のデイサービス利用時に利用者の情報を得たり交流する等して、馴染みの関係を作るよう心掛けている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	首巻の編み方や配色、包丁研ぎ、本将棋等利用者に教わっている。全員の洗濯物をたたみ各利用者の部屋に運んでいる方がおられる等、利用者が達成感を持てるような支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り 組みを 期待し たい項	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の特技を日々の生活で活かすように心掛けたり、何がしたいかどこに行きたいかを積極的に聞く等、本人の意向や思いに沿って支援している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の生活歴や状態等把握されているが、個別で具体的な介護計画となっていないものがある。	○	利用者に行っている日々の介護を具体的に計画に上げる等して、具体的で個別性のある内容にして頂きたい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しは六ヶ月に一回であるが、状態に変化があればその都度変更している。	○	職員の気づきや意見を取り入れるためにシステムや用紙が検討されているのでその実現を期待したい。また、きめ細やかな介護の提供のため見直しは一月に一回を望みたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	受診は職員同伴を基本とし、遠方の場合は家族が付き添っている。デイサービスの3B体操に参加したり、利用者の外泊、家族の宿泊を受け入れたり柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取 組みを 期待し たい項	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の意向に沿ってかかりつけ医による医療を受けている。また近隣の病院により、要望に応じて日曜や祭日にも往診が受けられる。毎月の往診も実施されている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医師との連携のもと、開設当初から入居していた利用者に対し、家族の協力や職員間の話し合いで終末期の看取りを行った。マニュアルもあり職員は最後まで看たいと考えている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	マニュアルも作成され職員全体に日々口頭で指導が行われている。言葉かけや対応で問題と思われることがあれば、関係者で話し合っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の日々の意向に沿った支援を行うことがホームの理念の中心に置かれている。散歩の好きな方には都度同伴したり、利用者の持つ力を引き出すよう心掛けられ、一人ひとりのペースが大切にされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り 組みを 期待し たい項	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	最近の利用者の意見から調理や食事の準備、盛り付けは職員が中心に行い、利用者が台所に入ることはない。職員は弁当持参であり、別の場所で食べている。	○	ホームにおける食事の位置付けを再確認され、利用者の理解協力を図りながら、職員と共に準備、片付け等実施されるよう期待したい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	個々の希望に応じていつでも利用できるが、ほとんどの利用者は午後3時から5時頃までに入浴している。入浴嫌いな利用者には歌で誘導する等工夫している。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	編み物やお雛様づくり、笹巻き作り、書初め、包丁研ぎ等利用者の関心や得意な分野を活かす支援をしている。玄関先で喫煙する利用者がいたり、併設のデイサービスの諸行事に参加される等日々の生活を楽しんでいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の散歩希望には必ず対応するようになり、近隣や山道等散策している。ドライブがてら自宅を見に行く等要望に沿って柔軟に支援している。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は夜間のみ施錠され自由に入出入りできる。何時でも面会でき、家族や利用者の馴染みの方等が気兼ねなく出入りしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り 組みを 期待し たい項	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルが作成され、年2回の防災訓練が実施されている。地域の協力や支援体制の確立はこれからの課題である。	○	協力体制確立のため、運営推進会議の場や自治会の場等で検討して頂きたい。3日間程度の備蓄確保も期待したい。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	副菜の種類が多くバラエティに富んだ献立であり量も多い。午後のお茶の時間に牛乳を飲んでもらったり、水分量にも気を配っている。利用者の状態や体調に合わせてお粥やキザミ食を取り入れている。	○	盛り付け量について検討して頂きたい。栄養士等のチェックを期待したい。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関周りは植栽されている。居間は台所につながり生活感が感じられ中庭も見ることができ、落ち着いた雰囲気である。たたみ部屋もあり、いろいろなことに利用されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室にトイレがあり収納スペースも広い。洋室、和室があり本人の要望に沿って使用されている。写真や利用者の作品が飾ってあったり、利用者用に洋服かけが作ってある等使いやすい居室となっている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。